

合同チーム規定改訂 (昨年の顧問会議で了承済み)

提案：インターハイ予選（大阪総体）においても、合同チームによる参加を認める。

但し、合同チームで参加した場合は、新1年生は大会に選手登録ができないこととする。

また、当大会において、合同チームは5回戦まで出場することができる。

- 理由：インターハイ予選の申し込み及び抽選会は新年度を迎える前（3月）に行われるが、合同チームの出場が許可されていない。そのため、選手が5人に満たない学校は、新1年生の入部を見込んで単独チームによる申し込みを行うか、新1年生の入部が見込めない場合は、他クラブからの協力を得て参加、もしくはやむを得ず棄権するしかないという選択となってしまうため。特に近年は棄権校が増えている傾向にある。

・合同チーム出場可能によるメリット：

- ①少人数で活動している学校にとっては、インターハイ予選に出場できず引退する選手も出てくるため、頑張ってきた2、3年生の出場機会を確実に与えることができる。
- ②棄権が減り、1回戦に調整していたチームに穴を開けることが減る。会場・審判など多面的にみても計画通り運営することができる。

・合同チーム出場可能によるデメリット：

- ①新1年生の公式戦の出場機会が1つ減ってしまう。

参 考

<近年の棄権状況>：

平成27年度	インターハイ予選	平成28年度	インターハイ予選
男子：4校		男子：4校	
女子：7校	男女計 11校	女子：5校	男女計 9校

平成29年度	インターハイ予選
男子：1校	
女子：4校	男女計 5校

※上記の学校以外にも、選手が不足しているために、初めから申込みすらしていない学校も少なくないと考えられる。

<他競技の合同チーム規則>：

バレーボール専門部：春季大会（選手権）と新人大会のみ合同可。夏の総体は不可。

サッカー専門部：春季大会、総体、U-18いずれも合同チーム可。

ラグビー専門部：総体（1年生出場不可）、全国予選、新人大会いずれも合同チーム可。

※バレーボールの春季大会は合同チームでも1年生は各チーム5名までなら出場可。サッカーは1年生出場不可。ラグビーは合同チームであってもなくても、怪我防止の理由で1年生出場不可。